

警 防 編

車両の配置状況	3 9
消防水利の状況	3 9
消防機材の配置状況	4 0
火災の概要	4 1
市町村別の火災状況及び月別の火災件数	4 2 ~ 4 3
原因別の出火件数	4 4
火災件数 10 年の推移	4 4
救急の概要	4 5
市町村別の救急状況	4 6
月別、時間別の出場件数	4 7
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況	4 8
程度別の搬送状況	4 9
救急出場件数 10 年の推移	4 9
応急手当の普及啓発活動状況	5 0
救命スタッフのいる事業所認定制度	5 0
救助の概要	5 1
月別、市町村別の出動件数	5 1
発生場所別の出動件数	5 2
事故種別出動件数比率	5 2
出動人員、活動人員	5 3
救助出動件数 10 年の推移	5 3
通信指令系統図	5 4
119 番着信状況	5 5
医療機関案内状況	5 5

用語の定義

建物火災焼損程度

- 全 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の70パーセント以上のもの又はこれ未満であっても残存部分に補修を加えて再使用できないものをいう。
- 半 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント以上のもので全焼に該当しないものをいう。
- 部 分 焼 …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の20パーセント未満のものでぼやに該当しないものをいう。
- ぼ や …… 建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損床面積が1平方メートル未満のもの、建物の焼き損害額が火災前の建物の評価額の10パーセント未満であり焼損表面積が1平方メートル未満のもの、又は収容物のみ焼損したものをいう。

救急事故種別

- 火 災 …… 火災現場において直接火災に起因して生じた事故をいう。
- 自然災害 …… 暴風、豪雨、高潮、地震等の異常な自然現象に起因する事故をいう。
- 水難事故 …… 水泳中の溺者又は水中転落等による事故をいう。
- 交通事故 …… すべての交通機関相互の衝突及び接触又は単一事故、若しくは歩行者等が交通機関に接触したこと等による事故をいう。
- 労働災害 …… 各種工場、事業所、作業場等で就業中発生した事故をいう。
- 運動競技 …… 運動競技の実施中に発生した事故をいう。
- 一般負傷 …… 他に分類されない不慮の事故をいう。
- 加 害 …… 故意に他人によって傷害等を加えられた事故をいう。
- 自損行為 …… 故意に自分自身に傷害等を加えた事故をいう。
- 急 病 …… 疾病によるもので、救急業務として行ったものをいう。
- そ の 他 …… 転院搬送、医師・資器材等の搬送及びその他上記に分類不能のものをいう。

車両の配置状況

車種	配置先	消防本部	消防署					合計
			本署	東部分署	西部分署	朝倉出張所	東出張所	
指揮車			1					1
水そう付ポンプ車			1	[1]	1	1	1	4
ポンプ車			1		1			2
化学車			1					1
はしご車			1					1
救助工作車			1					1
司令車			1	1	1		1	4
高規格救急車			2	1	1	1	1	6
資材運搬車			2					2
防火広報車		1						1
人員輸送車		1						1
その他の車両		3	1					4
合計		5	12	2	4	2	3	28

※[]は本署からの臨時配置車両(平成29年7月九州北部豪雨り災による)

消防水利の状況

種別 市町村	消火栓	防火水そう		井戸		プール	合計
		40t以上	20t以上	40t以上	20t以上	20t以上	
朝倉市 (旧甘木市)	449	193	31	74	10	12	769
朝倉市 (旧杷木町)	146	57	5		2	4	214
朝倉市 (旧朝倉町)		93	7	18	2	1	121
東峰村	11	53	3			2	69
筑前町	372	273	24	1	1	8	679
合計	978	669	70	93	15	27	1,852

消防機材の配置状況

種 別		配置先	本 署	東 部分 署	西 部分 署	朝 倉 出 張 所	東 出 張 所	合 計
消 防 用 資 器 材	カギ付はしご		3	1				4
	三連はしご		2		1			3
	空気式救助マット		1					1
	救命索発射銃		1					1
	可搬式ウィンチ		2					2
	マンホール救助器具		1					1
	マット型空気ジャッキ		1					1
	大型油圧スプレッダー		1					1
	エンジンカッター		2	[1]	1	1	1	5
	ガス溶断器		1					1
	チェーンソー		7	1	2	2	2	14
	大型油圧切断機		1					1
	万能斧		4	1	1	2	2	10
	可燃性ガス測定器		1		1	1	1	4
	空気呼吸器		26	[4]	7	4	4	41
	酸素呼吸器		5					5
	潜水器具一式		6					6
	救命ボート		2					2
	船外機		2					2
	投光器一式		7	[1]	2	1	1	11
緩降器		3		1	1		5	
化学防護服		4					4	
充電式油圧救助器具		2	[1]	1	1	1	5	
エアートント		2					2	
救 急 資 器 材	気道確保資器材一式		3	1	1	1	1	7
	自動体外式除細動器		5	2	2	2	2	13
	ショックパンツ		2	1	1	1	1	6
	輸液用資器材一式		2	1	1	1	1	6
	患者監視装置		5	1	1	1	1	9
	自動心臓マッサージ器			1	1	1	1	4
	喉頭鏡・マギール鉗子		6	1	1	1	1	10
	室内紫外線殺菌装置		2					2
	室内オゾン殺菌装置		2	1	1	1	1	6
	紫外線殺菌ロッカー		1	1	1	1	1	5

※〔 〕は本署からの臨時配置消防機材(平成29年7月九州北部豪雨り災による)

火災の概要

平成29年中の出火件数は43件で、前年より13件の増加となり、これは月平均3.6件、約8日に1件の割合で火災が発生したことになります。火災種別ごとにみると、建物火災23件（53.5%）、その他火災13件（30.2%）、車両火災6件（14.0%）、林野火災1件（2.3%）となっています。

損害額は64,342千円で、前年より8,551千円の減少となりました。また、火災により14世帯44人がり災し、死者1人、負傷者3人が発生しています。

項	目	単位	平成29年	平成28年	比較（▲減）
	火災発生件数	件	43	30	13
内 訳	建物火災	件	23	20	3
	林野火災	件	1	1	
	車両火災	件	6	5	1
	その他火災	件	13	4	9
総	損害額	千円	64,342	72,893	▲ 8,551
内 訳	建物損害額	千円	62,644	72,124	▲ 9,480
	（内収容物損害額）	千円	18,558	20,098	▲ 1,540
	林野損害額	千円			
	車両損害額	千円	1,343	706	637
	その他損害額	千円	355	63	292
	建物焼損床面積	m ²	2,362	2,398	▲ 36
	建物焼損表面積	m ²	48	89	▲ 41
	林野焼損面積	a	5	10	▲ 5
	焼損棟数	棟	37	27	10
	り災世帯数	世帯	14	13	1
	り災人員	人	44	44	
	死者数	人	1		1
	負傷者数	人	3	5	▲ 2
	一月平均火災件数	件	3.6	2.5	1.1
	出火率	件	5	3.5	1.5
	管内人口	人	85,913	86,622	▲ 709

（注）出火率は人口1万人当たりの出火件数（人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口）

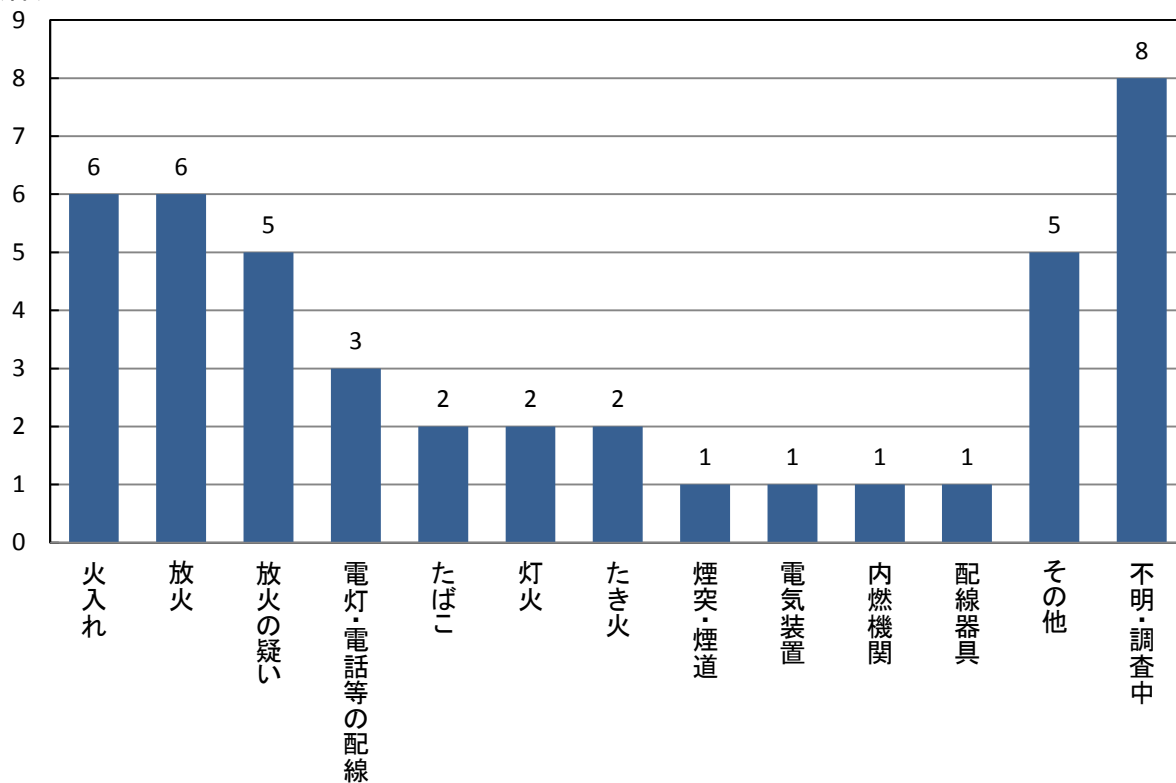
市町村別の火災状況及び月別の火災件数

市町村 月別	項目 年	出火件数					損害額合計 (千円)	建物の損害			
		合計	建物	林野	車両	その他		建物損害額 (千円)	(内収容物損害額) (千円)	焼損床面積 (㎡)	焼損表面積 (㎡)
朝倉市	28	20	13	1	3	3	32,308	31,901	11,164	1,159	36
	29	33	17		6	10	54,196	52,698	16,266	1,652	34
東峰村	28	2	1		1		6,497	6,465	219	148	
	29	3	3				8,867	8,867	2,292	554	8
筑前町	28	8	6		1	1	34,088	33,758	8,715	1,091	53
	29	7	3	1		3	1,279	1,079		156	6
合計	28	30	20	1	5	4	72,893	72,124	20,098	2,398	89
	29	43	23	1	6	13	64,342	62,644	18,558	2,362	48
1月		1			1		152				
2月		2	2				660	660	49	183	
3月		10	3		3	4	1,804	1,206	622	78	6
4月		2	2				90	90	18		1
5月		6	2		1	3	4,534	3,880	359	182	5
6月		4	1	1		2	2,784	2,584	846		25
7月		6	5			1	8,048	8,041	2,489	556	9
8月		5	3			2	36,244	36,214	11,253	1,153	
9月		3	2		1		6,994	6,994	2,551	205	
10月		1	1				240	240	1		2
11月		1	1				1,220	1,220	197	4	
12月		2	1			1	1,572	1,515	173	1	
合計		43	23	1	6	13	64,342	62,644	18,558	2,362	48

林野の損害		車両の損害		その他の損害	焼 損 棟 数					り災世帯数				り 災 人 員	死傷者	
損 害 額 (千円)	焼 損 面 積 (a)	損 害 額 (千円)	焼 損 台 数	損 害 額 (千円)	合 計	全 焼	半 焼	部 分 焼	ぼ や	合 計	全 損	半 損	小 損		死 者	負 傷 者
	9	344	3	63	17	5	3	4	5	6		1	5	27		1
		1,343	6	155	26	10	1	7	8	10	4		6	33	1	3
	1	32	1		1	1				1	1			1		1
					8	5		3		3			3	9		
		330	2		9	3		3	3	6	1		5	16		3
	5			200	3	1		2		1			1	2		
	10	706	6	63	27	9	3	7	8	13	2	1	10	44		5
	5	1,343	6	355	37	16	1	12	8	14	4		10	44	1	3
		152	1													
					2	1		1		1			1	5		
		571	3	27	4	1		2	1	1			1	2		
					2				2							
		620	1	34	3	1		1	1	2	1		1	3		2
	5			200	2	1		1		1			1	5		
				7	10	6		3	1	1			1	2		
				30	8	5		1	2	4	2		2	21		
			1		3	1	1		1	1	1			2	1	1
					1			1		1			1	1		
					1			1		1			1	2		
				57	1			1		1			1	1		
	5	1,343	6	355	37	16	1	12	8	14	4		10	44	1	3

原因別の出火件数

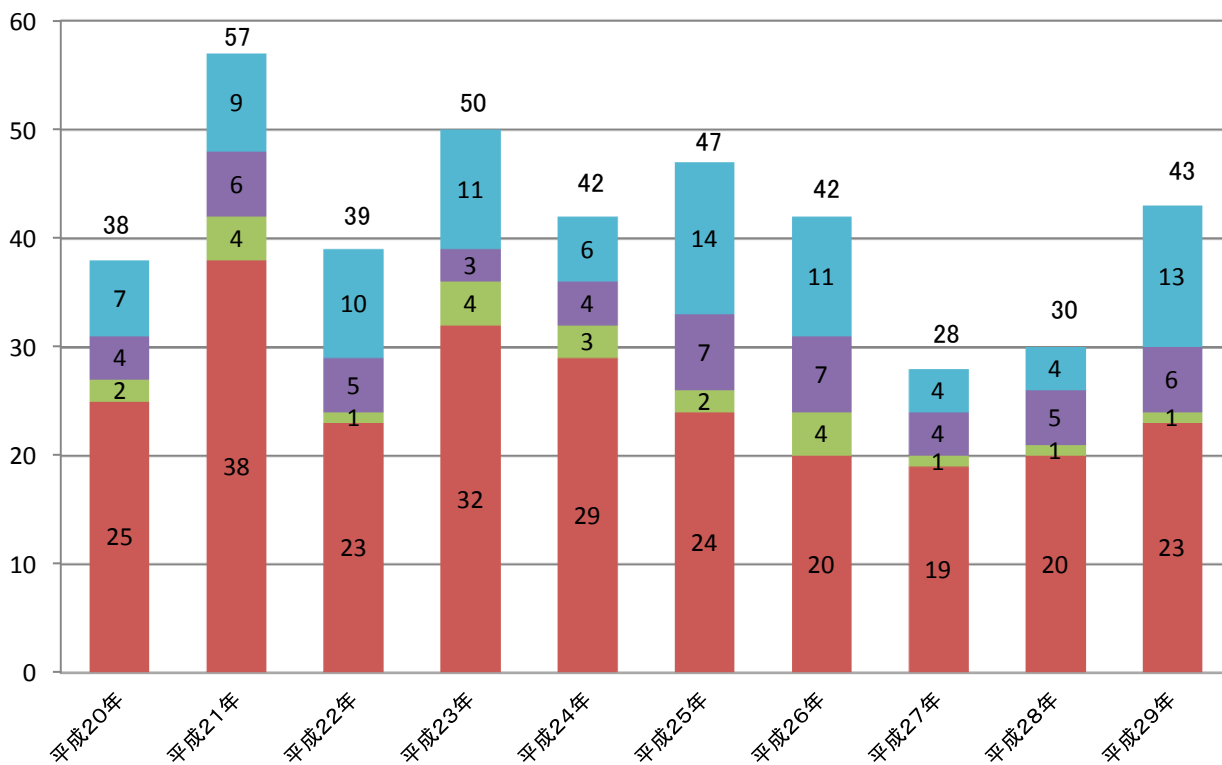
(件)



火災件数10年の推移

(件)

■ 建物 ■ 林野 ■ 車両 ■ その他



救急の概要

平成29年中の救急出場件数は4,275件で、前年に比べて322件の増加となりました。これは1日平均11.7件（前年10.8件）で約123分に1件の割合で出場し、管内住民の約22人に1人が救急車を利用したことになります。これを事故種別ごとに見ると、急病2,487件（58.2%）、一般負傷686件（16.0%）、転院搬送492件（11.5%）、交通事故366件（8.6%）、その他244件（5.7%）となっています。

また、管内には第三次救急医療機関が無いため、管外への転院搬送が大きな比率を占めています。

項目	単位	平成29年	平成28年	比較（▲減）		
出場件数	件	4,275	3,953	322		
搬送件数	件	3,959	3,702	257		
不搬送件数	件	316	251	65		
出場の件数の内訳	火災	件	6	5	1	
	自然災害	件	45	1	44	
	水難	件	4		4	
	交通事故	件	366	351	15	
	労働災害	件	115	70	45	
	運動競技	件	22	18	4	
	一般負傷	件	686	592	94	
	加害	件	12	13	▲ 1	
	自損行為	件	34	41	▲ 7	
	急病	件	2,487	2,361	126	
	その他	転院搬送	件	492	494	▲ 2
		医師搬送	件			
		資器材搬送	件			
その他		件	6	7	▲ 1	
搬送人員	人	3,995	3,752	243		
傷病程度	死亡	人	82	74	8	
	重症	人	613	617	▲ 4	
	中等症	人	1,959	1,857	102	
	軽症	人	1,341	1,203	138	
	その他	人		1	▲ 1	
1日平均出場件数	件	11.7	10.8	0.9		
1隊平均出場件数	件	855	791	64		
救急車利用率	人	管内住民約22人に1人	管内住民約23人に1人			
管内人口	人	85,913	86,622	▲ 709		

（注）人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

市町村別の救急状況

項目	単位	朝倉市	東峰村	筑前町	管外	合計	
出場件数	件	2,891	142	1,232	10	4,275	
搬送件数	件	2,680	129	1,142	8	3,959	
搬送人員	人	2,702	133	1,152	8	3,995	
出場の内訳	火災	件	6			6	
	自然災害	件	40	5		45	
	水難	件	4			4	
	交通事故	件	235	15	110	6	366
	労働災害	件	81	4	30		115
	運動競技	件	13		9		22
	一般負傷	件	457	24	205		686
	加害	件	7		4	1	12
	自損行為	件	21	2	11		34
	急病	件	1,628	82	775	2	2,487
その内訳	その の	転院搬送	件	395	10	87	492
		医師搬送	件				
		資器材搬送	件				
	その他	件	4		1	1	6
傷病程度	死亡	人	52	1	29		82
	重症	人	440	17	156		613
	中等症	人	1,337	70	547	5	1,959
	軽症	人	873	45	420	3	1,341
	その他	人					
1日平均出場件数	件	7.9	0.4	3.4	0.03	11.7	
各市町村人口	件	54,056	2,175	29,682		85,913	

(注) 人口はそれぞれ年末の住民基本台帳人口

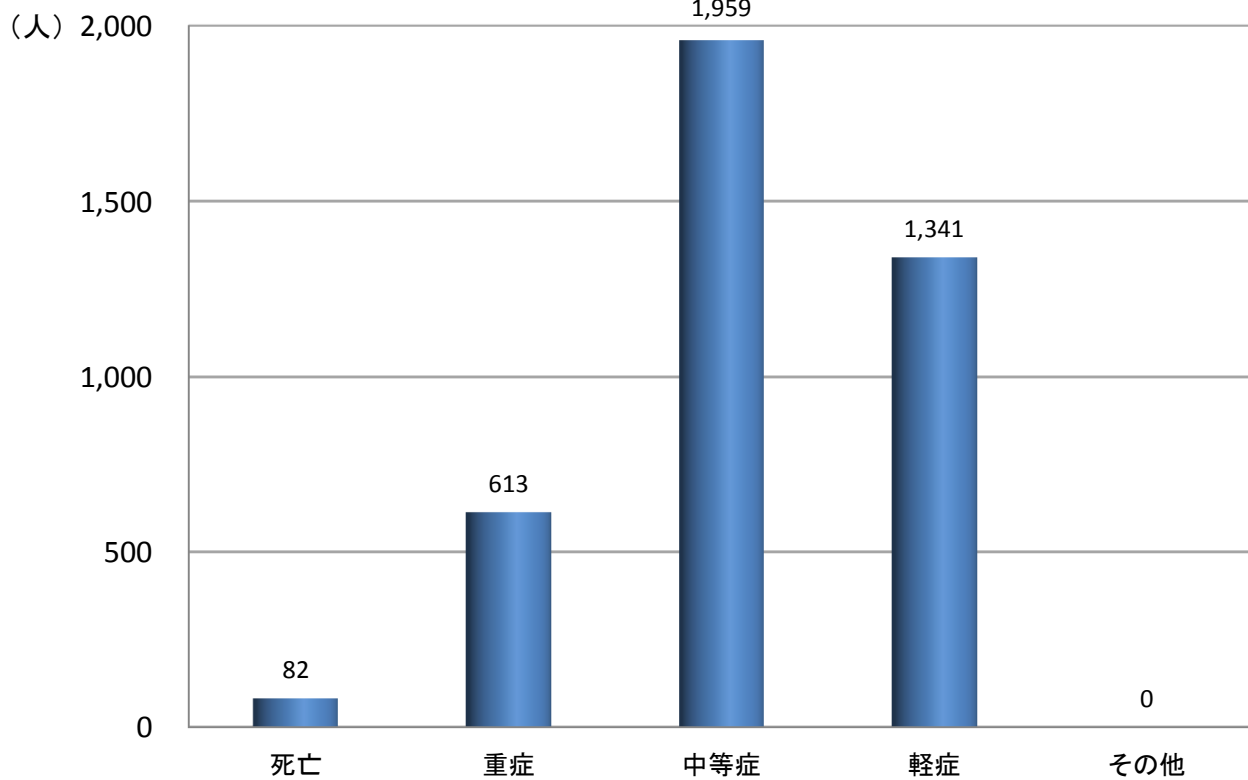
月別、時間別の出場件数(単位:件)

種別 月 時間帯	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他			
												転 院 搬 送	医 師 搬 送	資 器 材 搬 送	そ の 他
1月	395				42	5		63		2	238	45			
2月	317				28	3	1	47	1	1	196	40			
3月	330	1		2	28	11	2	63		3	188	32			
4月	340				30	9	2	63		7	181	48			
5月	323	1		1	30	9	5	42	1	4	190	38			2
6月	325				26	5	4	56	1	2	191	40			
7月	483		45		26	15	1	65	2	2	283	44			
8月	365	2		1	26	23	4	46			230	33			
9月	318	2			37	9	1	54	1	1	163	49			1
10月	342				26	8		50	3	4	208	42			1
11月	320				19	9	2	64	1	5	179	40			1
12月	417				48	9		73	2	3	240	41			1
合 計	4,275	6	45	4	366	115	22	686	12	34	2,487	492			6
0～2	181			1	5	2		17	2	1	143	10			
2～4	148	2	1		3	1		15	1	2	121	2			
4～6	135	1	4	1	11	2		15			97	3			1
6～8	275	1	2		34	4		40			186	7			1
8～10	466		4		50	16	3	89	3	5	240	56			
10～12	586		2	1	50	26	5	89	1	3	290	119			
12～14	469		1		39	18	4	83	1	4	241	77			1
14～16	487		13	1	47	18	2	85	1	4	244	72			
16～18	480	2	10		70	17	5	89		7	212	67			1
18～20	425		5		36	9	2	67		5	264	36			1
20～22	366		2		14	1	1	63		1	259	25			
22～24	257		1		7	1		34	3	2	190	18			1

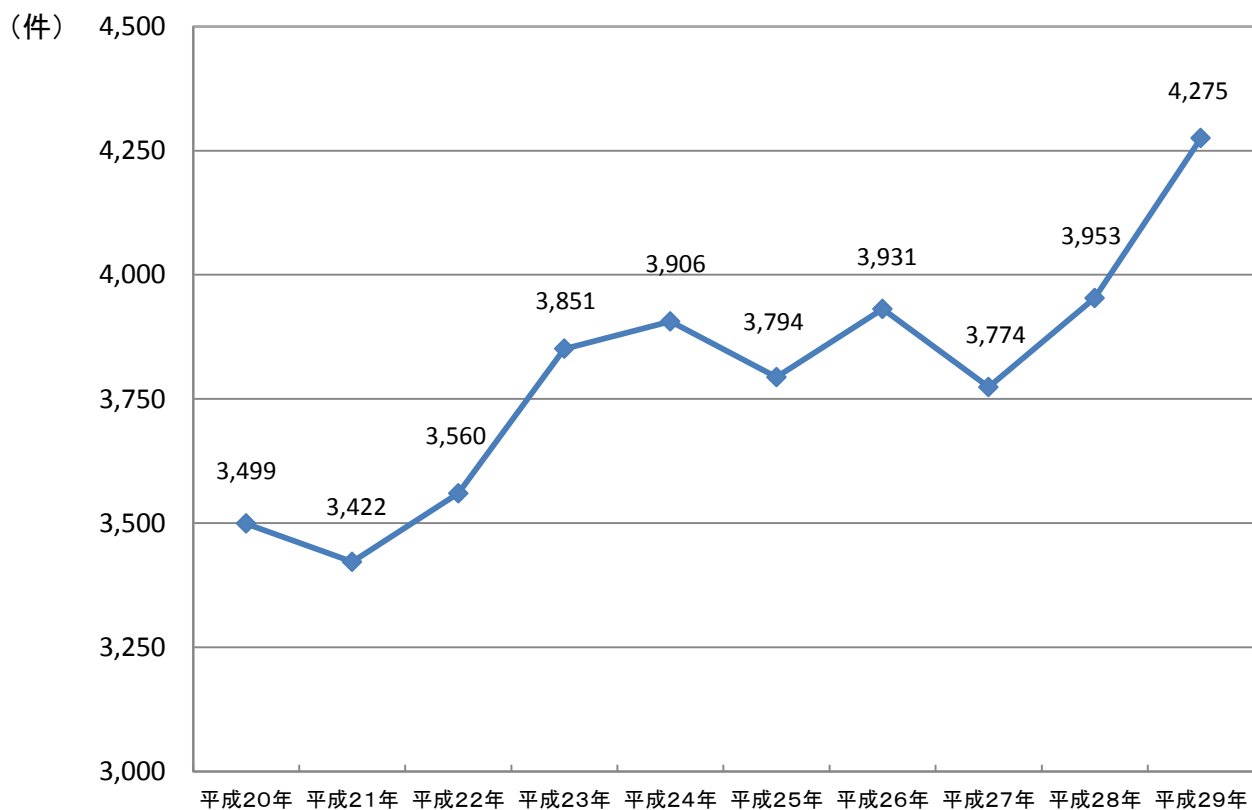
年齢区分別、程度別、月別の搬送状況(単位:人)

種別 項目	合計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他			
												転院搬送	医師搬送	資器材搬送	その他
搬送人員	3,995	2	27	1	364	110	22	645	13	21	2,300	488			2
年齢区分別	新生児	3									2				1
	乳幼児	172				6		34			119	13			
	少年	123				25		16	28	1	1	43	9		
	成人	1,188	1	8		205	84	5	101	10	15	621	137		1
	高齢者	2,509	1	19	1	128	26	1	482	2	5	1,515	329		
程度別	死亡	82		1		2	1		12		7	57	2		
	重症	613	2			30	8	2	102		2	320	147		
	中等症	1,959		14	1	126	55	8	286	2	7	1,160	298		2
	軽症	1,341		12		206	46	12	245	11	5	763	41		
	その他														
月別	1月	377				44	5		60			223	45		
	2月	296				31	3	1	40	1	1	179	40		
	3月	308				28	11	2	59		1	175	32		
	4月	316				29	9	2	57		5	166	48		
	5月	293	1			29	9	5	40	1	3	167	36		2
	6月	312				27	5	4	52	1	1	182	40		
	7月	436		27		24	14	1	59	2	2	264	43		
	8月	349			1	26	21	4	46			218	33		
	9月	301	1			38	8	1	52	1	1	150	49		
	10月	315				23	8		46	4	2	191	41		
	11月	299				16	8	2	63	1	4	165	40		
	12月	393				49	9		71	2	1	220	41		

程度別の搬送状況



救急出場件数10年の推移



応急手当の普及啓発活動状況

区分 年	救命講習			
	講習回数	新規受講者数	再受講者数	合計
平成 15 年	82	1,837	194	2,031
平成 16 年	112	2,296	356	2,652
平成 17 年	74	1,280	275	1,555
平成 18 年	83	1,560	249	1,809
平成 19 年	70	1,132	201	1,333
平成 20 年	59	1,138	268	1,406
平成 21 年	33	692	104	796
平成 22 年	41	791	106	897
平成 23 年	45	882	115	997
平成 24 年	42	1,047	112	1,159
平成 25 年	39	987	65	1,052
平成 26 年	42	963	133	1,096
平成 27 年	38	812	52	864
平成 28 年	41	999	134	1,133
平成 29 年	26	575	85	660
合計	827	16,991	2,449	19,440

※ 過去15年間の新規受講者総数は16,991人で管内住民の約5人に1人が救命講習を受講したことになります。平成29年7月九州北部豪雨の影響のため、平成29年7月から平成30年2月まで救命講習を一時中止しています。

救命スタッフのいる事業所認定制度

消防本部においては、応急手当の普及啓発活動を推進するため、積極的に救命講習を開催しております。また一人でも多くの救命を行うことを目的とし、平成16年4月1日より、救命講習を受講した事業所を「救命スタッフのいる事業所」として認定する制度を実施しています。

救命スタッフのいる事業所認定状況

朝倉市	東峰村	筑前町	合計（事業所）
78	13	14	105

平成17年度から平成29年度までに各事業所の協力を得て105事業所が認定を受けています。今後、更なる充実強化を目指します。

救助の概要

平成29年中の救助出動件数は97件で、前年より62件の増加となり、事故種別ごとにみると交通事故38件、水難事故4件、自然災害37件、機械による事故5件、建物等による事故3件、その他の事故10件となっています。これらの事故で延べ905人の隊員が出動し、137人を救助しました。また、平成29年7月九州北部豪雨に伴う出動件数は37件でした。

※救助出動件数等は甘木・朝倉消防本部出動事案で集計しています。なお、県内消防相互応援隊及び緊急消防援助隊による救助出動件数は30件でした。

事故種別 項目	火災		交通事故	水難事故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	前 年
	建 物	建 物 以 外												
出動件数			38	4	37	5	3					10	97	35
出動人員			444	45	241	51	28					96	905	432
救助人員			14	2	110	3	2					6	137	18
出動車両台数			147	17	67	17	9					35	292	143

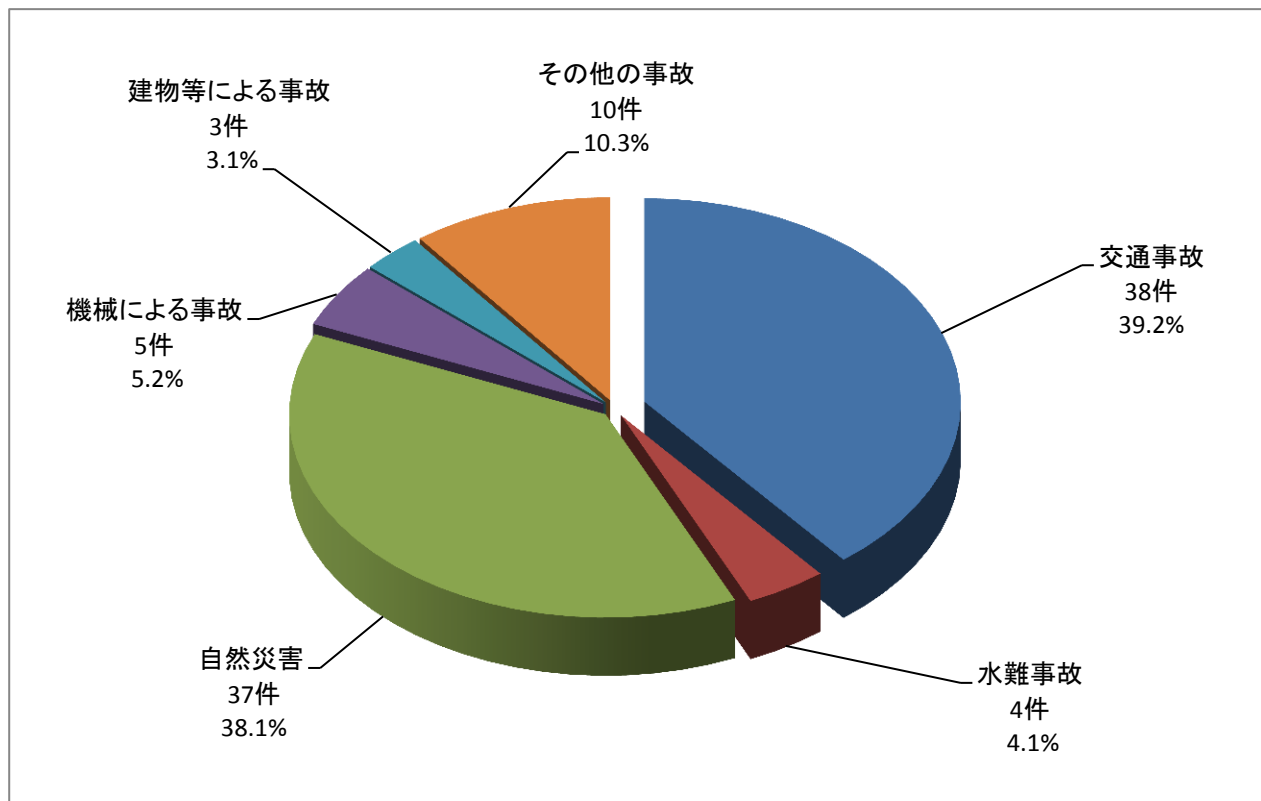
月別、市町村別の出動件数

事故種別 月別 市町村別	火災		交通事故	水難事故	風 水 害 等	自然 災害	機 械 に よ る 事 故	建 物 等 に よ る 事 故	ガ ス 及 び	酸 欠 事 故	破 裂 事 故	そ の 他 の 事 故	合 計	前 年
	建 物	建 物 以 外												
1月			4	1				2					7	3
2月			2					1				1	4	3
3月			4	1									5	
4月			4									4	8	2
5月			2	1			2					1	6	3
6月			2				1						3	1
7月			4		37								41	5
8月			3	1								1	5	3
9月			4				1					1	6	4
10月			2										2	2
11月			2									2	4	5
12月			5				1						6	4
合計			38	4	37	5	3					10	97	35
朝倉市			29	4	32	3	2					8	78	13
東峰村					5	1	1					1	8	2
筑前町			7				1					1	9	15
管外			2										2	5

発生場所別の出動件数

発生場所		火 災		交通事 故	水 難事 故	風 自 水 然 害 災 等 害	機 機 械 械 に 事 よ 事 る 故	建 建 物 物 等 事 に 故	ガ 酸 ス 欠 及 事 び 故	破 裂 事 故	そ 事 の 他 の 故	合 計
		建 物	建 物 以 外									
屋 内	住 居					5		3			1	9
	その他の屋内					5						5
屋 外	道 路			5								5
	高速自動車道 その他の道路			30		11	1				1	43
外 地	水 面			1	4	2					2	9
	内 水 面 外 水 面											
	山 岳										4	4
	その他の屋外			2		12	4				2	20
地 下												
そ の 他						2						2
合 計				38	4	37	5	3			10	97

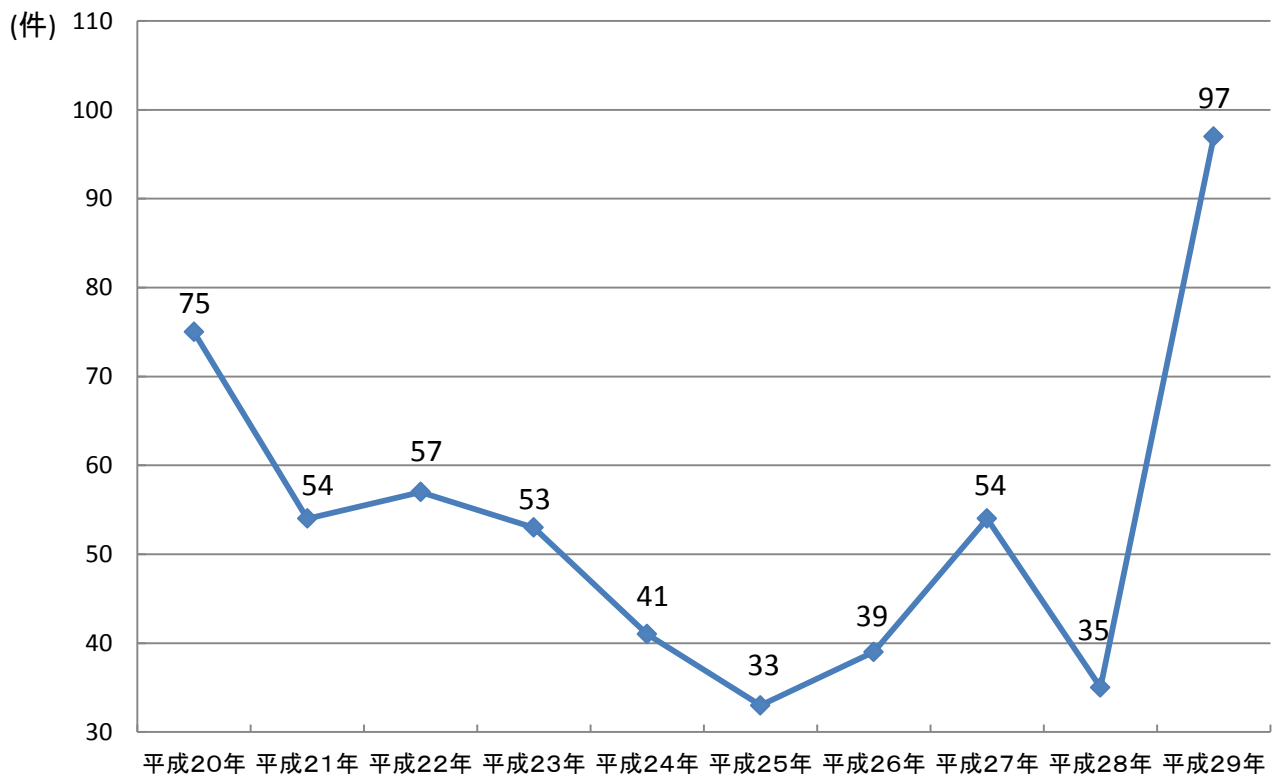
事故種別出動件数比率



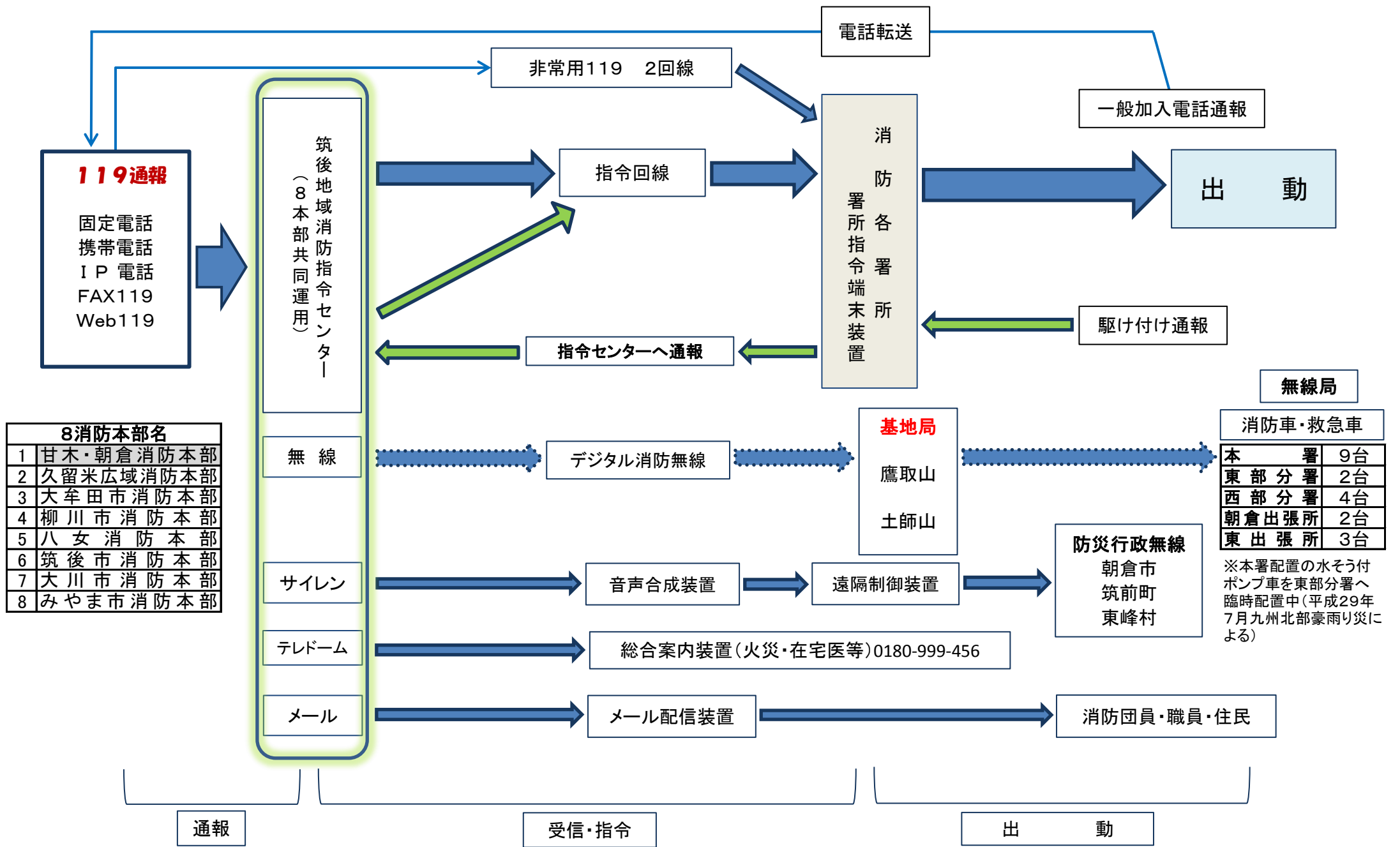
出動人員、活動人員

項目		火災		交通事故	水難事故	風水害等	自然災害	機械による事故	建物等に	よる事故	ガス及び	酸欠事故	破裂事故	その他の事故	合計
		建物	建物以外												
出動人員	救助隊員			155	14	32	20	12						39	272
	消防隊員			131	18	162	16	7						33	367
	救急隊員			158	13	47	15	9						24	266
	消防団員														
	合計			444	45	241	51	28						96	905
活動人員	救助隊員			43	8	16	4	8						19	98
	消防隊員			28	2	97	5							19	151
	救急隊員			39	3	15	9							12	78
	消防団員														
	合計			110	13	128	18	8						50	327

救助出動件数10年の推移



通信指令系統図



119番着信状況

月別 種別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
火災	1	2	10	2	6	4	6	5	3	1	1	2	43
救急 救助	402	321	335	348	329	328	524	370	324	344	324	423	4,372
その他 災害	47	37	48	56	47	42	816	39	45	34	29	62	1,302
合計	450	360	393	406	382	374	1,346	414	372	379	354	487	5,717

問合わせ 訓練 誤報等	朝倉市	筑前町	東峰村	合計
	890	302	34	1,226

医療機関案内状況

月別 区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
内科	13	9	10	1	1	4	4	6	5	6	4	7	70
外科	4	3	3	8	9	4	7	6	5	4	1	6	60
小児科	5	1		2	4		2	1	1		2		18
特殊科	6	4	4	2	6	2	1	5	2	5	1	3	41
合計	28	17	17	13	20	10	14	18	13	15	8	16	189